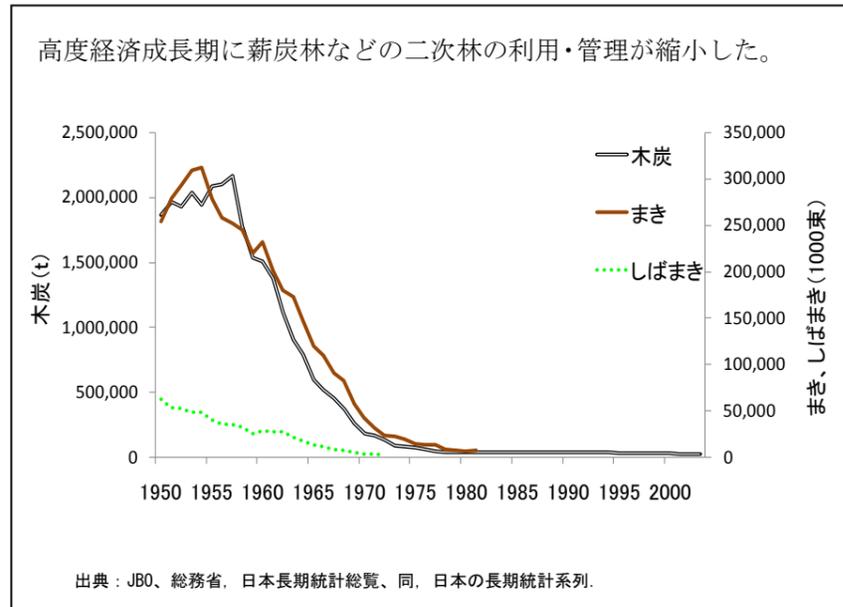


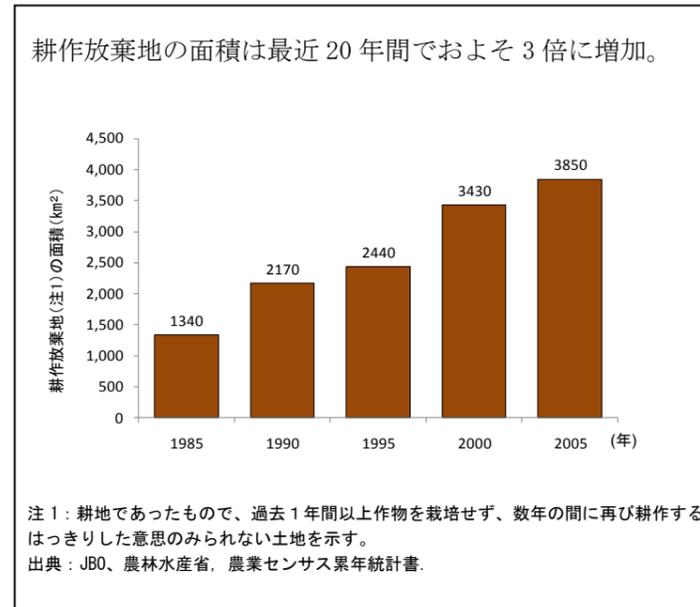
第2の危機：自然に対する人間の働きかけが縮小撤退することによる里地里山などの環境の質の変化、種の減少など

- 20世紀後半からエネルギーの供給構造の変化等、社会経済の構造的な変化が生じた。
- 里地里山の利用が縮小しており、生態系の質の低下が懸念されている。
- 中大型哺乳類の分布拡大による農林業被害や植生被害も問題となっている。

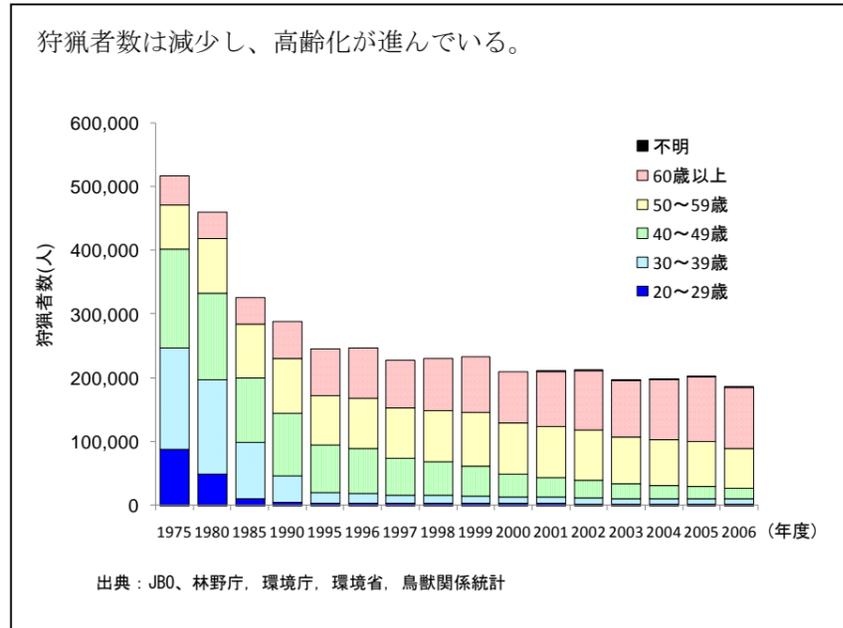
薪炭の生産量の減少



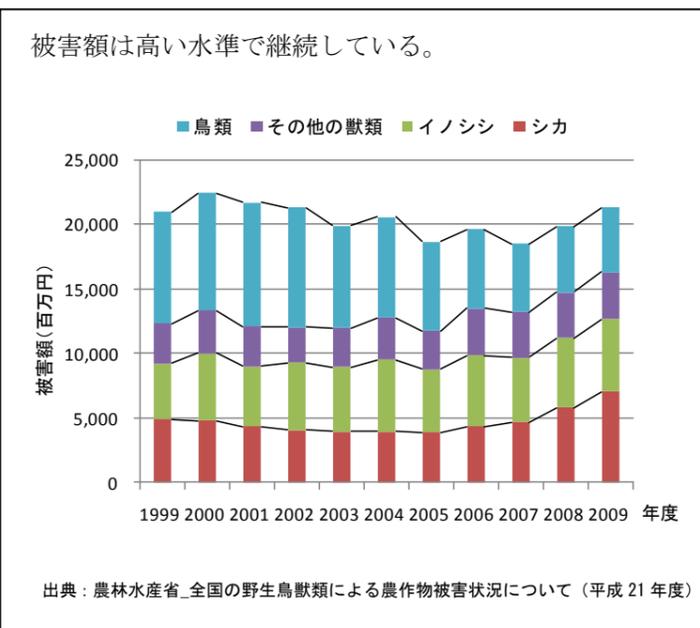
耕作放棄地面積の増加



狩猟による圧力の減少



野生鳥獣による農作物被害額の推移



ニホンジカの分布拡大と捕獲数の推移

ニホンジカの分布は全国的に拡大しており、捕獲数は増加している。

